

人間科学部開講科目における受講態度および課題提出に関するルール

早稲田大学人間科学部

人間科学部のカリキュラムは、広領域にまたがる科目群の有機的な結びつきを学生個々人が念頭に置きつつ履修計画を立てることから成り立っています。同時に、単に出席するだけでなく、能動的な受講を学生に求める授業形態を多くの科目において採用しています。ゆえに、無計画な科目登録を避けるとともに、教室での不十分な取り組みや未提出課題は一つでもあってはいけません。以下に受講にあたっての基本的なルールを改めて示しますので、学生のみなさんにはこれらの再確認と遵守を求めます。

1. 学生は正規授業科目に毎回出席することが原則であり、学部要項に記されているように、当該科目の出席回数が3分の2に満たない場合には単位認定されません。ただし、単に3分の2以上の出席を以って合格点が必ずしも保証されるわけではないことに注意して受講してください。
2. 学生は課題等を含む授業中の取り組み（受講態度）を以ってはじめて出席とカウントされます。また、平常点に重きを置いている科目においては、積極的な受講態度は高く評価されます。
3. 感染症による出席停止と忌引き、および教育実習等の正規授業科目による欠席のみ、所沢総合事務センターで手続きの上、担当教員に欠席の配慮を求めることができます。風邪等の体調不良、アルバイト、就職活動、インターンシップ、課外活動等による欠席は対象外です。
4. 上記の理由等（所沢総合事務センターでの手続き理由による欠席も含む）により欠席せざるをえなかった場合や二次登録以降の科目では、欠席回の授業内容を補う努力をしなければなりません。予習・復習を含め、担当教員の指示を仰ぐなど工夫をしてください。ただし、そのことを以って出席とみなされるわけではないこと、授業の計画上、各自で補うことができない科目においてはその時点で不合格となるので注意してください。また、基礎ゼミ I / II, 学生生活とセルフマネジメント, スタディスキル, データリテラシー I / II / III ではLA制度（所沢図書館内）を活用してください。
5. 授業の進行にともなう課題には当然順序があり、授業中に取り組む課題を含め、未提出課題が一つでもある場合には、単位取得は難しくなります。配点の低い小課題の分だけ減点されるわけではなく、当該科目の到達目標に達していないと総合判断される場合があるからです。
6. 遅刻・早退は欠席と同様に、自らの授業内容の理解に支障をきたすばかりだけでなく、専門 I 群（実験調査研究法）科目は言うまでもなく、講義科目であってもグループワーク等授業進行の大きな妨げとなります。遅刻・早退は他の学生への迷惑行為に等しく、授業担当者によっては欠席と同等と判断されることもあります。すべての授業科目において、常に余裕をもって通学するようにしてください。なお、鉄道会社等による証明書の扱いは担当教員が決めます。
7. 授業中の提出課題、レポート、到達度確認、試験における剽窃・盗用を含む不正行為を行った学生は、当該科目が不合格になるだけではありません。学部要項に記されているとおり、3ヶ月以上の停学処分となり、その学期中のすべての登録科目が不合格となるため、留年が決定します。

以上